

# 幸せを感じる町を目指し 安全・安心のまちづくり

平成26年第1回町議会定例会が、2月26日から3月20日までの23日間にわたり行われ、初日に川村光朗町長が町政運営の所信を述べました。ここでは、町長の平成26年度施政方針（要旨）と予算の概要についてお知らせします。

私は、町長就任以来、「創造、決断、実行」を基本理念とし、町民誰もが安全・安心で幸せを感じることができるようの実現を目指し、対話の中から町民の皆さまが何を求めているかを見出しつつ、ご意見を尊重しながら町勢発展のため最大限の努力を傾注し、誠心誠意取り組んでまいりました。

昨年の8月9日の県中部を中心に発生した記録的な大雨・洪水は、本町に大きな被害をもたらし、特に岩崎川流域では、大量の流水が原因となり護岸が決壊し、市街地において587棟の床上・床下浸水が発生したほか、観光施設や農業施設への土砂流入など、今まで経験したことのない数多くの被害が発生いたしました。被害を受けられました皆さまに、心からお見舞いを申し上げます。

また、平成23年3月11日の東日本大震災津波によって被災され、お亡くな

りになられました方々のご冥福を心からお祈りいたしますとともに、行方不明となられている方々の一日も早い発見をお祈りするところであります。不自由な暮らしを余儀なくされている被災者の方々に対し、改めてお見舞い申し上げます。沿岸被災地の早期復興のため、被災自治体に職員を派遣して行政事務の支援を行うなど、今後でもできる限りの支援をしてまいりたいと考えております。

町内の情勢を見ますと、矢幅駅前地区土地区画整理事業は、一昨年から本格的に工事に着手し、平成27年の完成を目指して順調に進んでおります。

岩手医科大学の総合移転事業は、災害時地域医療センター・マルチメディア教育研究棟が完成し、今後も附属病院などの整備のほか、県の療育センターや盛岡となん支援学校の移転新築などが順次計画されており、早期完

成が期待されるところであります。

第6次矢巾町総合計画後期基本計画の4年目である平成26年度は、昨年8月9日の大雨・洪水による災害復旧・復興事業への対応など厳しい状況下ではあるものの、あらゆる手法により歳入の確保に努め、緊急性や費用対効果を検証しつつ、歳出の徹底した見直しを行い、「選択と集中」を図ることにより、財政規律を堅持しながら着実に執行してまいります。

平成26年度当初予算の概要について、第6次矢巾町総合計画の施策の大纲であります5つの基本施策に沿って、主要な事業に関して具体的な取り組みや課題について、ご説明申し上げます。（左ページを参照）

平成26年度は、第6次矢巾町総合計画後期基本計画の4年目であることから、これまでの実施計画における課

題や達成状況などを検証し、平成27年度までの計画達成に向けて検討を行うとともに、事業をさらに精査しながら、確実に実行するよう鋭意取り組んでまいります。また、平成28年度から始まる第7次矢巾町総合計画の策定に向け準備を進めてまいります。

普通会計の中期的な財政見通しは、歳入面においては、景気回復の地方への波及効果が確たる状況にはないことから、自主財源である税収入の伸びが期待できない状況であり、また、依存財源である地方交付税は減少傾向が続く、大変危惧しているところです。歳出面においては、昨年8月9日の大雨・洪水による災害復旧・復興事業を優先しつつ、第6次矢巾町総合計画後期基本計画の最重要事業である矢幅駅前地区土地区画整理事業をはじめ、計画された事業に財源を効率よく配分して取り組む必要があります。

# 平成 26 年度 施政方針の主な施策

## ①自然・都市と農村が調和するまちづくり

- 農業基盤の整備…徳田第二地区と下矢次地区について、平成 26 年度中の事業完了に向けた取り組みを行います。
- 都市基盤の整備…矢幅駅前地区土地区画整理事業について、家屋移転および道路などの整備を進めるとともに、駅前広場の整備や複合施設の実施設計に着手します。
- 幹線道路網の整備…岩手医科大学附属病院の移転計画などと整合性を図りながら、アクセス道路の整備を推進し、徳田橋架け替えの早期完成について、引き続き要望活動を展開します。「(仮称) 矢巾スマートインターチェンジ」の設置について、用地測量と用地取得を進め、周辺道路を含めた整備を、関係機関連携のもと実施します。

## ②地域に根ざした活力ある産業のまちづくり

- 農業の振興…「やはば集落営農応援事業」や「農業担い手支援事業」などを実施し、担い手である集落営農組織への支援、認定農業者の所得向上を目指します。また、付加価値の高い商品の導入や複合経営の導入を図り、6 次産業化の推進に向けた取り組みを支援します。各集落における「人・農地プラン」策定と、担い手となる中心経営体の育成や農地集積に向けた支援を行います。
- 商工業の振興…商工会や商業団体と連携し、地域の魅力を発信する賑わい創出イベントなどを支援するほか、矢幅駅前地区商業集積形成実現化に向けた事業を支援し、活力ある商店街の形成に取り組みます。また、もりおか起業ファンドによる起業家の育成を行い、創出された企業による地域経済活性化の推進に努めます。
- 観光の振興…昨年 8 月 9 日の大雨・洪水で被災したマレットゴルフ場と水辺の里について、岩崎川の災害復旧工事の状況を勘案しながら、復旧方法と時期について検討を進めます。

## ③安全で快適なやすらぎのあるまちづくり

- 生活道路の整備…より地域に身近な町道の整備は、地域への資材支給等を行い、行政と地域が協働で行う「協働の道づくり事業」を推進し、新しい道路整備のあり方や取り組み手法について検討しながら取り組みます。
- 環境保全…再生可能エネルギーの導入を図り、町内 3 施設に太陽光発電システムの導入設置を進めます。また、

昨年に引き続き、住宅用太陽光発電システム設置に対して補助金を交付します。

- 災害に強いまちの形成…共助組織としての自主防災組織をすべての地域で結成し、地域ぐるみの防災体制と防災意識の高揚をはかります。昨年 8 月 9 日の大雨・洪水災害をもとに、浸水地域を見直した新しいハザードマップを整備して全戸配布を行い、災害に強いまちづくりを推進します。煙山ダムの維持補修、設備管理に万全を期すとともに、県の河川改修事業に協力し、早期完成に向けて引き続き要望活動に取り組みます。

## ④安心して生きがいのある健康長寿のまちづくり

- 高齢者福祉の充実…日ごろからの見守り活動や、災害時の避難支援体制を整備します。認知症施策総合推進事業を活用して医療機関及び介護福祉施設との連携を強化し、認知症の方及び介護する家族に対する支援体制の充実を図ります。
- 少子化対策・児童育成支援…煙山保育園の改築事業を推進し、保育環境の整備に努めます。また、煙山児童館の増築事業にも取り組みます。平成 27 年度施行予定の「子ども・子育て新制度」に対応した子ども・子育て支援事業計画の策定に取り組みます。不妊に悩む方々の経済的な負担を軽減するため、保険適用外の一般不妊治療費の一部助成する制度を新たに設けるほか、特定不妊治療費の一部助成も実施します。
- 健康づくり…策定された「健康やはば 21 (第 2 次) 計画」を踏まえ、特定健康診査と特定保健指導をヘルスアップ事業と連動させ、岩手医科大学や医師会などの専門機関や自治会と協働型の実施体制を構築します。受診率向上のため、夕方の健診実施や個別健診の充実を図るほか、昨年度に引き続き若年層の特定健診を実施します。がん検診について、従来の地区公民館型の集団検診を主体に、個別検診や通年型検診など、がん検診を受けやすい体制を充実させ、一層の「早期発見・早期治療」を推進します。

## ⑤たくましく豊かな心を育てるまちづくり

- 2016 年岩手国体…本町で開催されるスポーツチャンバラとラジオ体操の実施に向けた基本計画を策定するとともに、それぞれの競技の普及・促進に努めます。

後期基本計画に計上した事業の財源は、町税や普通交付税のほか、財政調整基金の取崩しを予定しておりますが、昨年 8 月 9 日の大雨・洪水災害のような想定外の財政措置により、基金残高が大きく目減りすることも予想され、一層慎重な財政運営に努めていかなければなりません。

現下の景気動向の中では、計画どおりの財源確保が確保されているものではなく、財政を圧迫することも想定しておりますが、本町においては、財政の健全化を第一に考え、町民の皆さまに不安や不信感を与えないよう健全経営に努めてまいります。

平成 26 年度の一般会計予算規模は、昨年 8 月 9 日の大雨・洪水による復旧・復興事業と、煙山保育園および煙山児童館整備事業の計上により、対前年度比約 4 億円の増で、91 億 5 千万円となりますが、各事業においては、必要最少限の予算を配分し、創意と工夫で支障が生じないように事業を執行するとともに、なお一層の経費削減に努めてまいります。

今後も町民憲章に掲げる「和といたわりと希望の町」の実現を目標として、安全・安心の町を目指し、思いやりの心を重視し、引き続き「スピードアンドチャレンジ」をキャッチフレーズに、創意と工夫を凝らして、業務執行に取り組んでまいります。私は、すべての町民が幸せを感じる事ができる行政運営を行うために、全力を傾注し町政を遂行してまいります。



# 予算

## 91億5,280万円

限られた財源を有効に活用

### 主な事業の内容

<単位：万円(千円を四捨五入)>

#### 民生費

- ▶ 重度心身障害者医療費助成事業…… 8,362
- ▶ 障害者自立支援事業…………… 3億 4,620
- ▶ 地域生活支援事業…………… 2,837
- ▶ 障害児福祉事業…………… 4,392
- ▶ 母子福祉医療費助成事業…………… 5,942
- ▶ 児童手当給付事業…………… 4億 5,146
- ▶ 保育委託事業…………… 6億 377
- ▶ 煙山保育園整備事業…………… 3億 5,533
- ▶ 児童館運営事業…………… 6,292
- ▶ 煙山児童館整備事業…………… 7,447

#### 土木費

- ▶ 道路維持事業…………… 4,005
- ▶ 交通安全施設整備事業…………… 9,818
- ▶ 矢巾スマートインター・チェンジ整備事業…………… 1億 7,402
- ▶ 河川改良事業…………… 5,110

#### 総務費

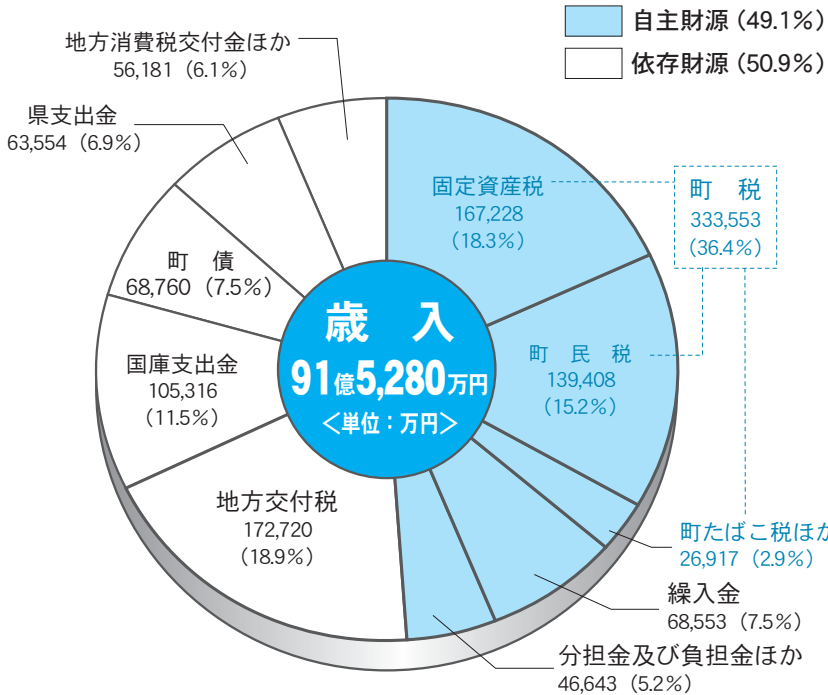
- ▶ 人材育成事業(国際交流)…………… 300
- ▶ 交通安全対策事業…………… 703
- ▶ コミュニティ推進事業…………… 1,261
- ▶ 共通番号制度導入対策事業…………… 1億 3,322

予算は、4月1日から翌年の3月31日までの一年間に、町がどんな事業にどれくらいの経費をかけて行うかを示すもので、一般会計と特別会計、企業会計の3つからなっています。

### 一般会計予算

平成26年度の一般会計当初予算は、大雨・洪水災害の復旧・復興事業をはじめ、煙山保育園新築など新規事業の計上により、前年度に対して約4億円増額の91億5280万円となりました。

町に入るお金(歳入)について、自主財源である町税は、町民税と固定資産の伸びなどが期待され、約1億円増額の見込みです。自主財源全体としては、前年比約1億1千万円増額となり、全体に占める自主財源の割合は49・1%となりました。依存財源では、国庫支



### \*\*\* 財 政 用 語 解 説 \*\*\*

■地方交付税＝町の財政力に応じて国から配分されるお金 ■町債＝大きな事業を行うときに借りるお金 ■国庫・県支出金＝事業に対し国や県から交付される補助金など ■繰入金＝積立てした基金を取り崩したお金 ■総務費＝一般的な事務経費や財産管理、統計調査費、広報経費など ■民生費＝老人や障がい者、児童などの社会福祉のための経費 ■公債費＝事業を行うために借りたお金の返済金 ■自主財源＝町税や繰入金など町が独自に調達できるお金 ■依存財源＝国や県から交付されるお金や割り当てられる収入

総務費	公債費	土木費	民生費
 35,840 円	 37,635 円	 50,452 円	 119,327 円



一般会計予算を町民一人当たりで見ると・・・

341,255 円

平成26年3月1日  
現在の人口 26,821 人

## 主な事業の内容

<単位：万円(千円を四捨五入)>

### 衛生費

- ▶成人検診事業…………… 4,663
- ▶母子保健事業…………… 3,020
- ▶不妊治療費助成事業…………… 250
- ▶予防接種事業…………… 5,071
- ▶浄化槽設置整備事業…………… 391
- ▶ごみ処理場運営事業…………… 4億 1,847

### 教育費

- ▶小学校教育振興事業…………… 3,720
- ▶小学校英語力向上事業…………… 291
- ▶小学校維持管理事業…………… 4,949
- ▶中学校教育振興事業…………… 2,875
- ▶中学校維持管理事業…………… 4,100
- ▶矢巾町公民館維持管理事業…………… 6,191
- ▶自治公民館運営事業…………… 487
- ▶田園ホール運営事業…………… 5,412
- ▶埋蔵文化財発掘調査事業…………… 1,129
- ▶岩手国体開催準備事業…………… 300
- ▶共同調理場運営事業…………… 3,852

### 農林水産業費

- ▶農業経営構造対策事業…………… 952
- ▶農作物流通消費拡大事業…………… 244
- ▶農業生産振興対策事業…………… 763
- ▶かんがい整備事業…………… 4,640
- ▶農業体質強化基盤整備促進事業…………… 5,121

### 消防費

- ▶常備消防事業…………… 2億 1,619
- ▶非常備消防事業(消防団など)…………… 3,208
- ▶消防自動車更新事業…………… 1,929
- ▶水防事業…………… 564

### 商工費

- ▶商工業振興事業…………… 2,063
- ▶中小企業振興資金貸付事業…………… 479
- ▶企業誘致推進事業…………… 224

### 災害復旧費

- ▶国民保養センター災害復旧事業…………… 761
- ▶道路橋りょう災害復旧事業…………… 9,881

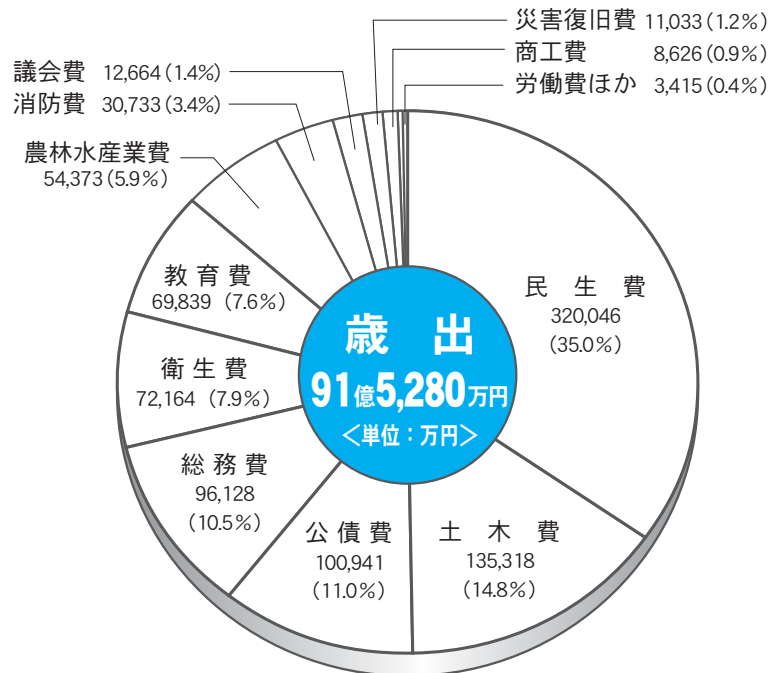
### 労働費

- ▶就労者支援事業…………… 140
- ▶融資貸付制度事業…………… 2,000

特別会計は、国民健康保険事業など4特別会計で、総額約68億5千万円となりました。駅前地区複合施設整備事業を行う矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計が、前年比16・8%増額の約24億1千万円となっています。また、企業会計である上・下水道事業会計は、総額で約32億円となっています。

### 特別会計・企業会計予算

お金の使い道(歳出)では、煙山保育園新築事業や煙山児童館増築事業などで民生費が約32億円、土木費が矢巾スマートインター・チェンジ整備事業などで約13億5千万、災害復旧費が約1億1千万円となっています。



平成26年度特別会計・企業会計の予算 単位：万円(千円を四捨五入)

会計名	予算額	会計名	予算額
国民健康保険事業	252,357	水道事業	収益的支出 53,901
介護保険事業	174,880		資本的支出 57,275
後期高齢者医療	16,280	下水道事業	収益的支出 105,406
矢幅駅周辺土地区画整理事業	241,024		資本的支出 102,955

#### 消防費ほか



24,783 円

#### 農林水産業費



20,273 円

#### 教育費



26,039 円

#### 衛生費



26,906 円